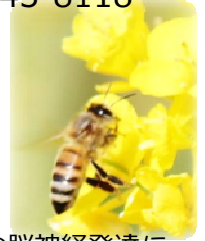


「子ども達の未来のために」環境シンポジウム

日時：2014年2月15日（土） 14：00～18：00

会場：銀座 紙パルプ会館 3F 会議室（東京都中央区銀座 3-9-11）電話 03-3543-8118

参加費：無料（希望者には資料を有償頒布）



「スケジュール」

基調講演 14：00～15：20

黒田洋一郎氏講演「子供たちの未来のために」

最近、多動症のお子さんが増えていると聞きます。また、アメリカやEUでは農薬と子供の脳神経発達について因果関係の研究が進んでいます。くらしの現場に存在する化学物質や農薬が子どもの脳に及ぼす影響について、脳神経学研究者の立場から丁寧に解説いただきます。

黒田洋一郎氏：1943年東京都に生まれる。1966年東京大学農学部農芸化学科卒業後、東京大学応用微生物研究所（現・分子細胞生物学研究所）、ロンドン大学精神医学研究所を経て、1973年東京都神経科学総合研究所研究員。1976年から77年までフランス国立科学研究機構・神経化学センター客員研究員。

生きもの認証につて 15：30～16：15

徳江倫明 FTPS（株）代表取締役 オーガニックマーケティング協議会代表

生きもの認証（みつばちの里認証）現場報告 16：15～17：00

稲敷市釜井地区生産者 丸山訓氏（有機栽培あゆみの会）
笠間市上郷地区生産者 生駒敏文氏（いこまらいすせんたあ）
大子町生瀬地区生産者 谷田部好三氏（奥久慈米生産販売）

ディスカッション「生きもの認証を拡げよう」 17：00～18：00

司会 高安和夫（日本在来種みつばち協会）

パネリスト

丸山訓氏（有機栽培あゆみの会）
生駒敏文氏（いこまらいすせんたあ）
谷田部好三氏（奥久慈米生産販売）
後藤和明氏（らでいっしゅぼーや株式会社）
消費者
行政関係者



交流会 18：30～（参加費 ¥4000）

* 交流会ではみつばちの里の米や茨城の地元料理もご用意します。

主催：ネオニコチノイド系農薬の中止を求めるネットワーク、日本在来種みつばち協会

共催：いばらき食と農のブランドづくり協議会、茨城みつばちの里づくり協議会

* この事業は一般社団法人アクト・ビヨンド・トラストの助成を受けて行っております。

【お問い合わせ】銀座イニシアティブオフィス

T E L : 03-6277-8000 F A X : 03-6277-8888 E - m a i l : ginzainitiative@gmail.com

【お申込（FAX用）】

下記の内容をご記入の上、FAXまたはMAILにてお申込みください。

申込め切：2月13日（木）必着（件名に「環境シンポジウム申込」とご記入ください）

T E L : 03-6277-8000 F A X : 03-6277-8888 E - m a i l : ginzainitiative@gmail.com

■氏名（ふりがな）

■所属

■連絡先（日中連絡の取れる連絡先）

■メールアドレス

■住所